

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式／インデックス型
信託期間	無期限（設定日：2023年7月12日）
運用方針	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の値動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。
主要投資対象	別に定めるETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	年1回（毎年7月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。収益分配にあてなかった留保益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。



# 運用報告書（全体版）

## 第1期

（決算日：2024年7月10日）

# SBI・iシェアーズ・ TOPIXインデックス・ファンド （愛称：サクっとTOPIX）

追加型投信／国内／株式／インデックス型

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「SBI・iシェアーズ・TOPIXインデックス・ファンド（愛称：サクっとTOPIX）」は、2024年7月10日に第1期決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

## SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。  
<https://www.sbiam.co.jp/>

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		投資信託証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率		
(設定日) 2023年7月12日	円 10,000	円 —	% —	10,000	% —	% —	百万円 36
1期(2024年7月10日)	13,262	0	32.6	13,397	34.0	99.6	3,168

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。

(注3) ベンチマークは東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) です。

(注4) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注5) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		投資信託証券 組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	
(設定日) 2023年7月12日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —
7月末	10,431	4.3	10,456	4.6	105.4
8月末	10,456	4.6	10,501	5.0	98.6
9月末	10,517	5.2	10,555	5.5	101.7
10月末	10,199	2.0	10,239	2.4	99.4
11月末	10,724	7.2	10,794	7.9	99.6
12月末	10,702	7.0	10,770	7.7	99.7
2024年1月末	11,536	15.4	11,611	16.1	99.7
2月末	12,071	20.7	12,183	21.8	98.9
3月末	12,607	26.1	12,723	27.2	100.4
4月末	12,469	24.7	12,607	26.1	100.0
5月末	12,608	26.1	12,753	27.5	99.3
6月末	12,790	27.9	12,938	29.4	98.8
(期末) 2024年7月10日	13,262	32.6	13,397	34.0	99.6

(注1) 騰落率は設定日比です。

(注2) ベンチマークは東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) です。

(注3) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注4) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

ベンチマーク：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。日本の株式市場全体の動向を示す代表的な株価指数です。

## ■当期の運用状況と今後の運用方針（2023年7月12日から2024年7月10日まで）

### ○基準価額等の推移



設定日：10,000円

期末：13,262円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 32.6%

(注1) ベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）です。詳細はP1をご参照ください。

(注2) ベンチマークは、設定日（2023年7月12日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

(注4) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

### ○基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

- ・ 良好な企業収益
- ・ 米追加利上げ観測が大きく後退し、世界的な株高となったこと
- ・ 円安・ドル高が進行したことで、輸出関連株が買われたこと

#### 下落要因

- ・ 米連邦準備制度理事会（FRB）が現行の金融引き締めを維持する姿勢を示したこと
- ・ 米景気の先行き懸念
- ・ 中東での地政学リスク台頭により原油価格急騰に対する警戒感が高まったこと

## ○投資環境

---

設定当初、東証株価指数（TOPIX）は2,220付近から始まりました。2023年9月中旬までは、円安が進んだことで輸出関連株中心に買いが入り、米半導体大手エヌビディアの好業績への期待感などからテクノロジー株が買われたほか、内外の金利上昇に銀行、保険株も強含み上昇しました。その後、米公開市場委員会（FOMC）の経済見通しで米連邦準備制度理事会（FRB）が現行の金融引き締めを維持する姿勢を示したことから下落し、10月24日には期間中最安値の2,196.95をつけました。その後、米長期金利低下や日銀の緩和継続姿勢を背景に続伸し、2,400台をつけました。年末にかけては、米景気の先行き懸念から円高に振れたことで自動車、銀行、商社株が反落しました。年明けより為替が円安・ドル高に振れたため輸出関連株が買われたこと、米金利上昇により日本の金利上昇期待が強まり銀行株が買われたことなどで上昇し、一時もみ合った後、米国株市場でハイテク株中心に主要株価指数が過去最高値を更新したこと、日本株の割安感から外国人投資家の大口買いが入り、2023年3月22日は、日経平均株価が場中に41,087.75円の史上最高値をつけ、TOPIXも2,820台の高値をつけました。その後、機関投資家の益出し売り、米長期金利の上昇と早期利下げ期待の後退、中東情勢の緊迫化などから、4月中旬には2,590台まで大きく下落しました。期末にかけては、FRBによる利下げ期待から米国株式上昇や世界同時株高の流れを受け上昇し、今期最終日7月10日に最高値水準の2,900台で当期を終えました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

ベンチマークである「東証株価指数（TOPIX）（配当込み）」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象であるiシェアーズ・コア TOPIX ETFを高位に組み入れて運用を行いました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

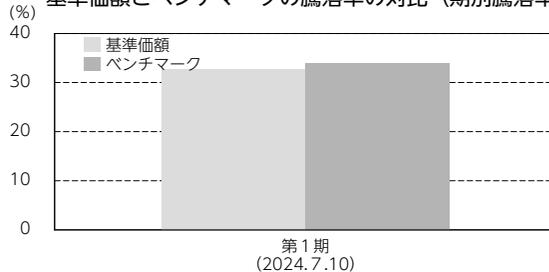
期中における基準価額は、+32.6%の上昇となり、ベンチマークである「東証株価指数（TOPIX）（配当込み）」の騰落率である+34.0%を概ね1.4%下回りましたが、個別には以下のようなプラス要因、マイナス要因があります。

（マイナス要因がプラス要因を上回りました。）

主なプラス要因：ファンドとベンチマークにおいて適用される配当税率の差異

主なマイナス要因：ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジション

基準価額とベンチマークの騰落率の対比（期別騰落率）



（注）ベンチマークは東証株価指数（TOPIX）（配当込み）です。詳細はP1をご参照ください。

## ○分配金

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 1 期
	2023年 7 月 12 日～ 2024年 7 月 10 日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,261

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

ETF(上場投資信託証券)への投資を通じて、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の値動に連動する投資成果をめざします。

# ○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年7月12日～2024年7月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 )  ( 受 託 会 社 )	7 ( 3 ) ( 3 )  ( 2 )	0.064 (0.024) (0.024)  (0.015)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料  (投資信託証券)	35  ( 35 )	0.309  (0.309)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に 支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に 関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 )	8 ( 3 ) ( 5 )	0.072 (0.028) (0.044)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	50	0.445	
期中の平均基準価額は、11,425円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

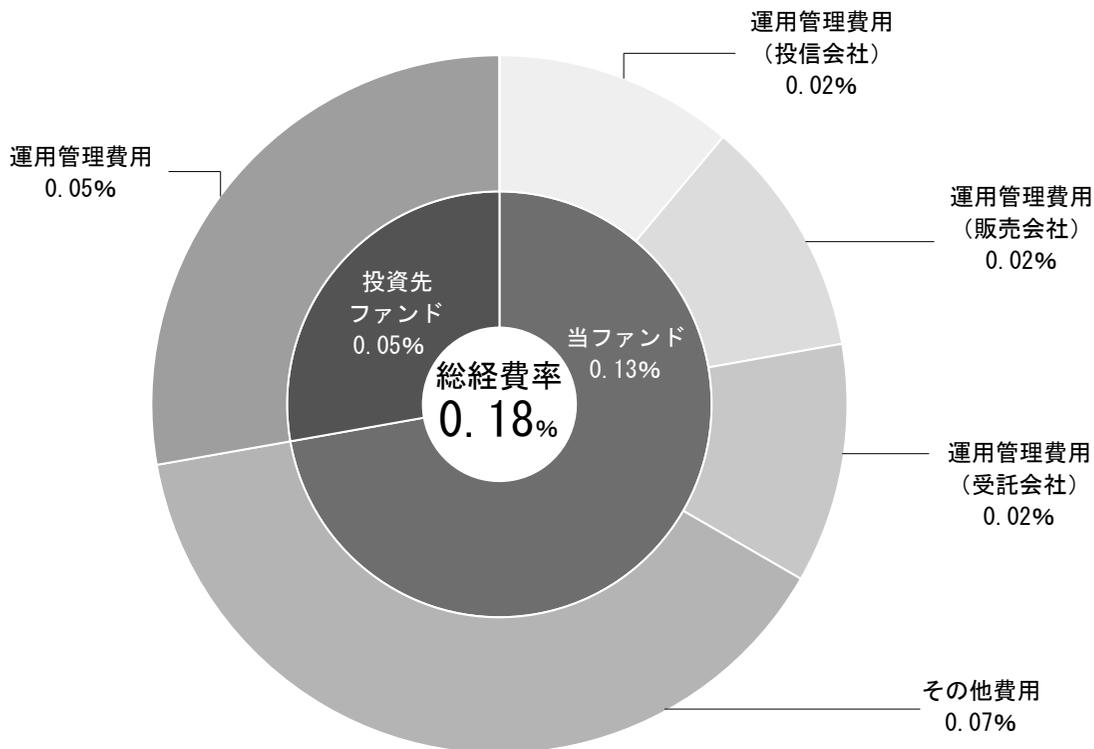
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率(年率)**は**0.18%**です。



総経費率 (①+②)	0.18%
①当ファンドの費用の比率	0.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.05%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年7月12日～2024年7月10日)

### 投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ISHARES CORE TOPIX ETF	口	千円	口	千円
		1,058,206	2,854,228	13,582	32,793
	小計	1,058,206	2,854,228	13,582	32,793

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年7月12日～2024年7月10日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2024年7月10日現在)

### 国内投資信託証券

銘柄名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
ISHARES CORE TOPIX ETF	口 1,044,624	千円 3,154,764	% 99.6
合 計	口 数 ・ 金 額 1,044,624	3,154,764	99.6
	銘柄数 < 比率 >	1	< 99.6% >

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2024年7月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 3,154,764	% 97.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	66,130	2.1
投 資 信 託 財 産 総 額	3,220,894	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年7月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,220,894,617円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	66,130,119
投資信託受益証券(評価額)	3,154,764,480
未 収 利 息	18
(B) 負 債	52,875,124
未 払 金	44,540,479
未 払 解 約 金	7,092,898
未 払 信 託 報 酬	591,086
そ の 他 未 払 費 用	650,661
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	3,168,019,493
元 本	2,388,798,575
次 期 繰 越 損 益 金	779,220,918
(D) 受 益 権 総 口 数	2,388,798,575口
1 万 口 当 ち 基 準 価 額 (C / D)	13,262円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>  
(貸借対照表関係)

期首元本額	36,849,400円
期中追加設定元本額	2,914,952,658円
期中一部解約元本額	563,003,483円

## ○損益の状況 (2023年7月12日~2024年7月10日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	7,864,547円
受 取 配 当 金	7,875,212
受 取 利 息	723
支 払 利 息	△ 11,388
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	301,221,614
売 買 益	333,423,253
売 買 損	△ 32,201,639
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,405,027
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	307,681,134
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	471,539,784
( 配 当 等 相 当 額 )	( 42,101,618)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 429,438,166)
(F) 計 (D + E)	779,220,918
(G) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (F + G)	779,220,918
追 加 信 託 差 損 益 金	471,539,784
( 配 当 等 相 当 額 )	( 42,101,618)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 429,438,166)
分 配 準 備 積 立 金	307,681,134

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,828,859円)、費用控除後の有価証券等損益額(299,852,275円)、および信託約款に規定する収益調整金(471,539,784円)より分配対象収益は779,220,918円(10,000口当たり3,261円)ですが、当期に分配した金額はありません。

〈ご参考〉組入投資信託証券の概要

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
iシェアーズ・コア TOPIX ETF	日本の株式	TOPIX (配当込み)	0.045%(税抜)	ブラックロック・ジャパン

組入上位10銘柄	比率
トヨタ自動車	4.4%
三菱UFJフィナンシャルG	2.6%
ソニー	2.4%
日立	2.2%
三井住友フィナンシャルG	1.9%
東京エレクトロン	1.9%
キーエンス	1.8%
三菱商事	1.6%
リクルートホールディングス	1.6%
三井物産	1.5%

組入上位10業種	比率
その他	24.3%
電気機器	17.6%
輸送用機器	8.3%
銀行	8.1%
卸売業	7.6%
情報・通信業	7.0%
機械	5.7%
化学	5.6%
サービス業	4.5%
医薬品	4.3%

出所：ブラックロック・ジャパンの資料を基にSBIアセットマネジメントが作成  
 (注) 2024年6月30日時点の比率です。

上記組入投資信託証券は第1期期末時点で取得可能なデータを記載しており、将来変更される場合があります。